

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「テンプレトン・グローバル株式ファンド（愛称：株の祭典）」は2022年11月28日に約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。当ファンドは、主として世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、厚くお礼申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

第16期末(2022年11月28日)	
償還価額	11,291円40銭
純資産総額	494百万円
第16期	
騰落率	0.9%
分配金(税込み)合計	-円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

# テンプレトン・ グローバル株式ファンド (愛称:株の祭典)

追加型投信／内外／株式

## 償還 交付運用報告書

第16期(償還日2022年11月28日)

作成対象期間：2021年11月30日～2022年11月28日



FRANKLIN  
TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5219-5947

(営業日の9:00～17:00)

ホームページ：<https://www.franklintempleton.co.jp>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。上記＜お問い合わせ先＞ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」→「償還ファンド一覧」→当ファンドを選択することにより、運用報告書（全体版）を開覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付を請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2021年11月30日～2022年11月28日)



期 首： 11,188円

期末(償還日)：11,291円40銭(既払分配金(税込み)：一円)

騰 落 率： 0.9%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年11月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの基準価額(円建て)の値上がりは、投資対象ファンドの基準価額(米ドル建て)が下落した一方で、米ドルが円に対して上昇したことによるものです。

当期のパフォーマンス(騰落率)は、ややプラス(分配金再投資ベース)となりました。投資対象ファンドの基準価額は下落した一方、為替相場が米ドル高・円安となったことが寄与しました。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・当期末にかけ、過度な金融引き締め観測が和らぎ、グローバルに株価が上昇したこと。

(下落要因)

- ・当期の半ばから後半にかけ、世界的な金融引き締め観測の下、グローバルに株価が下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年11月30日～2022年11月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	147	1.262	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 33)	(0.285)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(108)	(0.932)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 5)	(0.044)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.026	(b) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.017)	その他費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.009)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	150	1.288	
期中の平均基準価額は、11,633円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

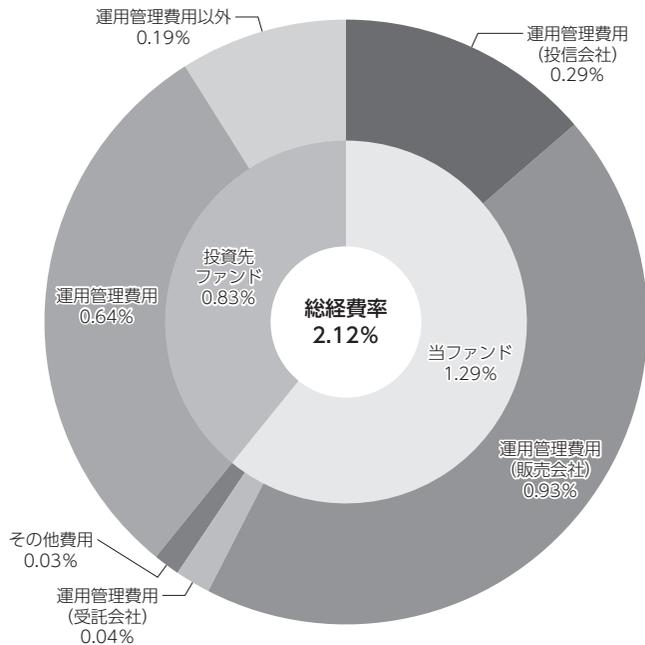
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.12
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年11月28日～2022年11月28日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年11月28日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年11月28日 決算日	2018年11月28日 決算日	2019年11月28日 決算日	2020年11月30日 決算日	2021年11月29日 決算日	2022年11月28日 償還日
基準(償還)価額 (円)	10,647	10,198	10,014	9,815	11,188	11,291.40
期間分配金合計(税込み) (円)	—	190	0	0	60	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.4	△ 1.8	△ 2.0	14.6	0.9
純資産総額 (百万円)	896	729	702	602	552	494

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、「テンプレートン・グロース・ファンド Advisor Class」、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ-テンプレートン・グロース (ユーロ)・ファンド Class I (Ydis) USD」および「テンプレートン・グロース・ファンドII」に投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**投資環境**

(2021年11月30日～2022年11月28日)

**(世界の株式市場)**

当期の世界株式は、下落しました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（F R B）が金融政策の正常化を積極的に進めるとの見方や、ウクライナ情勢の緊迫化およびそれを受けた原油価格の高騰を受けて、株価は下落しました。しかしその後、ウクライナとロシアとの停戦交渉の進展期待などを背景に、株価は堅調となる場面も見られました。

期の半ばは、F R Bのタカ派的金融姿勢やウクライナ情勢が欧州景気に与える悪影響への懸念などから株価は下落基調で推移しました。急ピッチな株安に対する反動から買戻しが強まる場面もみられましたが、積極的な金融引き締め姿勢を取るF R Bに加え、欧州中央銀行（E C B）も利上げを開始する方針を示すなど、株価は続落しました。

期の後半は、経済指標を受けてインフレ懸念が和らぐ場面もみられましたが、引き続き金融引き締めの長期化がテーマとなり、株価は下落しました。しかし、その後F R BやE C Bが今後利上げペースを緩める、との観測などにより株価は上昇に転じ、上昇基調となる中、当期末を迎えました。

**(外国為替市場)**

当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、概ね一進一退の展開となりました。新型コロナウイルス感染拡大への警戒感から米国株式相場が軟調となる場面で米ドルは対円で上値の重い展開となった一方、F R Bによる金融政策の正常化が予想以上に早く進むとの見方が広がったことは、米ドル買い・円売りを促す要因となりました。その後、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた原油高でインフレ懸念が強まり、米回国債利回りが上昇すると、日米金利差の拡大に伴い、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、F R Bが金融引き締めペースを加速するとの観測が広がった一方で、日銀が金融緩和策を維持する姿勢を継続していることから、日米の金融政策の方向性の違いが意識される中、米ドル買い・円売りが強まりました。

期の後半は、F R Bが利上げペースを緩めるとの見方が広がったことから、米ドル売り・円買いが優勢となる場面もみられましたが、再び米金融引き締めの長期化観測が広がる中、米ドル買い・円売りが強まりました。その後、日本政府・日銀が米ドル売り・円買いの為替介入を実施したことや、F R Bが利上げペースを緩めるとの観測が浮上したことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2021年11月30日～2022年11月28日)

### ○組入比率

期を通じて投資対象ファンドの組入比率を高位に維持しました。

### ○運用経過

#### (当ファンド)

投資対象ファンドである「テンプレトン・グロース・ファンド (米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グロース (ユーロ)・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」および「テンプレトン・グロース・ファンドⅡ (ケイマン籍投資法人)」に投資を行いました。

#### (投資対象ファンド)

当期、世界的な金融引き締めの流れを嫌気して株式市場が下落する中、ファンドの基準価額 (米ドル建て) は下落しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年11月30日～2022年11月28日)

当ファンドの投資対象ファンドは、ベンチマークを上回ることを目指して運用をするものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

## 分配金

(2021年11月30日～2022年11月28日)

償還のため、該当事項はございません。

受益者のみなさまにおかれましては、これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

## お知らせ

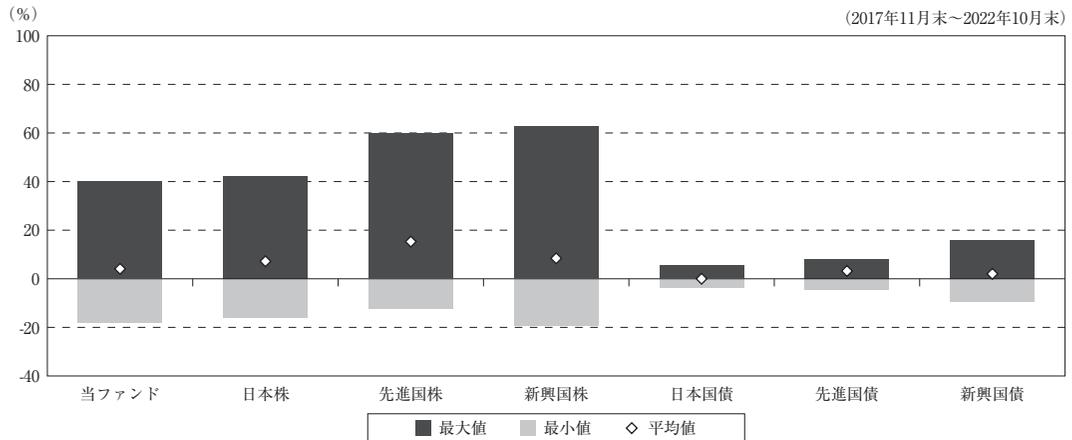
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2007年2月23日～2022年11月28日	
運用方針	主として、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンプレートン・グロース・ファンド（米国籍投資法人）</li> <li>・フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）</li> <li>・テンプレートン・グロース・ファンドⅡ（ケイマン籍投資法人）</li> </ul>
	テンプレートン・グロース・ファンド	世界各国（新興国を含む）の株式
	フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）ファンド	
	テンプレートン・グロース・ファンドⅡ	
運用方法	テンプレートン・グロース・ファンド、フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）ファンド、テンプレートン・グロース・ファンドⅡの3つの外貨建て投資信託証券（投資対象ファンド）を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。当ファンドの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないこととします。	
分配方針	<p>毎決算時（毎年11月28日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 18.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4
平均値	4.1	7.2	15.3	8.4	0.0	3.2	2.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年11月から2022年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2022年11月28日現在)

2022年11月28日現在、有価証券等の組入れはございません。

### 純資産等

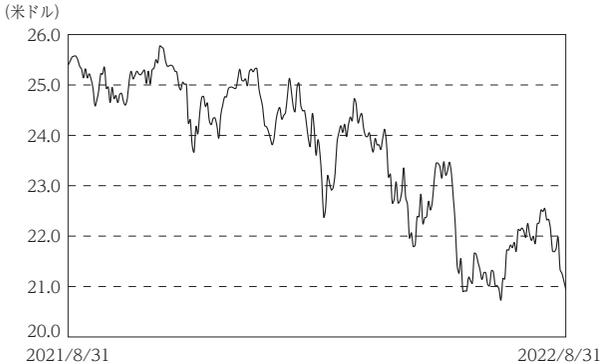
項 目	第16期末(償還日)	
	2022年11月28日	
純 資 産 総 額	494,828,879円	
受 益 権 総 口 数	438,235,312口	
1 万口当たり償還価額	11,291円40銭	

(注) 期中における追加設定元本額は11,192,093円、同解約元本額は66,968,070円です。

## 組入上位ファンドの概要

### テンプレートン・グロース・ファンド (2021年9月1日～2022年8月31日)

#### ○基準価額の推移



(注) 当ファンドが投資対象とする Advisor Class の分配金再投資基準価額です。

#### ○費用の明細

(2021年9月1日～2022年8月31日)

管理報酬	0.69%
名義書換事務代行報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.10%
合計	0.79%

(注) 当ファンドが投資対象とする Advisor Class の数値です。  
 (注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

#### ○上位 10 銘柄

(2022年8月31日現在)

銘柄名	国名	業種	比率 %
AbbVie, Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.62
BP plc	英国	エネルギー	2.55
Walt Disney Co. (The)	米国	メディア・娯楽	2.53
TJX Cos., Inc. (The)	米国	小売	2.37
Johnson & Johnson	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.36
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.34
HCA Healthcare, Inc.	米国	ヘルスケア機器・サービス	2.34
Unilever plc	英国	家庭用品・パーソナル用品	2.32
Medtronic plc	米国	ヘルスケア機器・サービス	2.30
Anheuser-Busch InBev SA/NV	ベルギー	食品・飲料・タバコ	2.21
組入銘柄数		62銘柄	

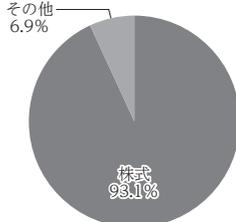
(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準 (GICS)」の24の産業グループを使用しております。

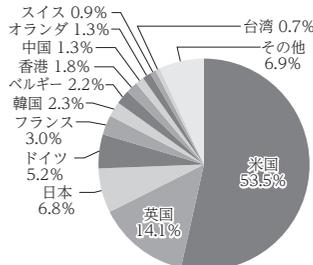
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国名は Annual Report に準じております。

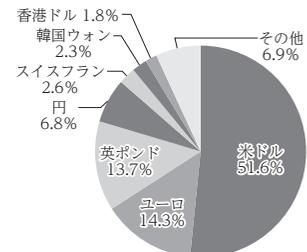
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分

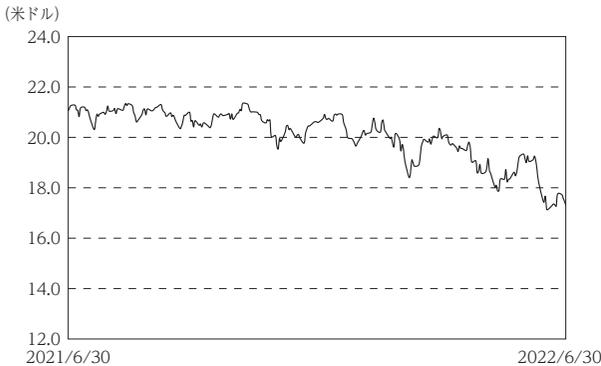


(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年8月31日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）・ファンド  
 (2021年7月1日～2022年6月30日)

○基準価額の推移



(注) 当ファンドが投資対象とする Class I (Ydis) USD の分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2021年7月1日～2022年6月30日)

運用報酬	0.70%
管理会社報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.24%
合計	0.94%

(注) 当ファンドが投資対象とする Class I (Ydis) USD の数値です。  
 (注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

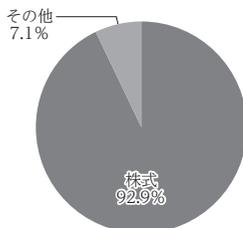
○上位 10 銘柄

(2022年6月30日現在)

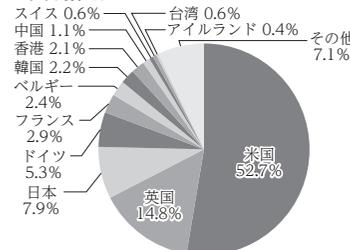
銘柄名	国名	業種	比率 %
AbbVie, Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.05
GSK plc	英国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.51
Johnson & Johnson	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.50
AstraZeneca plc	英国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.49
Anheuser-Busch InBev SA/NV	ベルギー	食品・飲料・タバコ	2.38
Dollar Tree, Inc.	米国	小売	2.27
Medtronic plc	米国	ヘルスケア機器・サービス	2.27
BP plc	英国	エネルギー	2.21
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.21
Unilever plc	英国	家庭用品・パーソナル用品	2.20
組入銘柄数		65銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準 (GICS)」の24の産業グループを使用しております。  
 (注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。  
 (注) 国名は Annual Report に準じております。

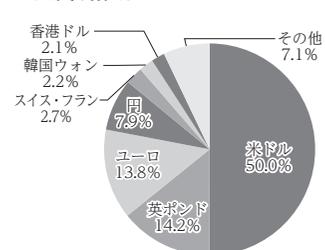
○資産別配分



○国別配分



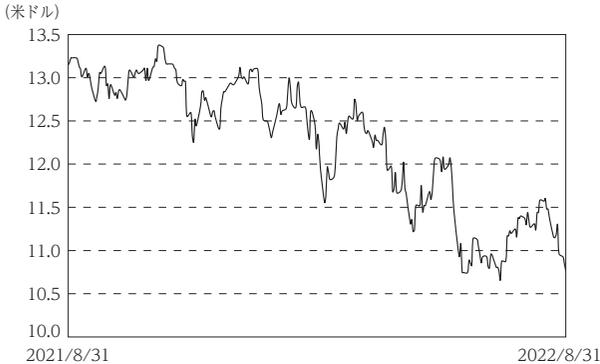
○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年6月30日現在のものです。  
 (注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注) 先物の比率は絶対値ベースで記載しております。

テンプレートン・グロース・ファンドⅡ (2021年9月1日～2022年8月31日)

○基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2021年9月1日～2022年8月31日)

運用報酬	0.63%
管理事務代行報酬、名義書換事務代行報酬、保管 銀行報酬、監査費用等	0.20%
合計	0.83%

(注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

○上位10銘柄

(2022年8月31日現在)

銘柄名	国名	業種	比率
AbbVie, Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.65%
BP plc	英国	エネルギー	2.59%
TJX Cos., Inc. (The)	米国	小売	2.52%
Walt Disney Co. (The)	米国	メディア・娯楽	2.51%
Unilever plc	英国	家庭用品・パーソナル用品	2.40%
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.37%
Johnson & Johnson	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.33%
Anheuser-Busch InBev SA/NV	ベルギー	食品・飲料・タバコ	2.29%
Medtronic plc	米国	ヘルスケア機器・サービス	2.28%
T-Mobile US, Inc.	米国	電気通信サービス	2.23%
組入銘柄数		62銘柄	

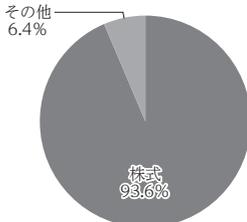
(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準 (GICS)」の24の産業グループを使用しております。

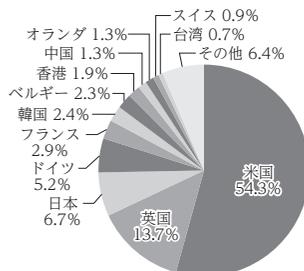
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国名はAnnual Reportに準じております。

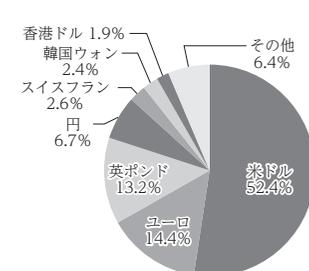
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2022年8月31日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr. は、  
“With money and financial planning, prudence comes first.”  
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)  
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、  
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。